

糖尿病で、

今、しっかり
理解して
おきたい!

ほんとうに怖いのは、

合併症です。



糖尿病による悲劇を避けるには、「合併症」と、その「予防」についての正しい知識が大切です。

三大合併症

- ✓ 神経障害 …… 糖尿病性壊疽で、足を失う人が年間約 3000 人。
- ✓ 網膜症 …… 大人になってからの失明原因第 1 位。
- ✓ 腎症 …… 人口透析導入の 3 分の 1 が糖尿病患者。

糖尿病大血管症

- ✓ 動脈硬化 …… 糖尿病は血管の病気、予備軍の段階から進行。
- ✓ 狭心症・心筋梗塞 …… 心臓の血管が傷つけられることによって発症。
- ✓ 脳梗塞 …… 脳の血管が傷つけられることによって発症。

感染症、その他の疾患

- ✓ かぜ
- ✓ インフルエンザ
- ✓ 肺炎
- ✓ 結核
- ✓ 膀胱炎
- ✓ 腎盂炎
- ✓ 口内炎
- ✓ 歯肉炎
- ✓ 皮膚炎
- ✓ 胆嚢炎
- ✓ 認知症
- ✓ 白内障
- ✓ 緑内障 等々。

詳しくは中面へ

資料コード:A-1T

糖が気になる、あなたへ。

東京大学と共同開発した免疫活性成分「プロリコ」
摂取した体感のお声が、多数、届いています。

76歳 男性
体調が安定し、毎日、**安心**です。

51歳 女性
とても良い。**プロリコ成分のおかげ**です。

70歳 男性
摂取しない日は、身体が重い感じがして、行動がしにくくなります。

43歳 女性
良いので**続けています**。プロリコは身体に良いと知っていましたが、プロリコ成分は、さらに良さそうです。

81歳 男性
気分爽快です。私は週に2回ほど将棋クラブに行って若い人たちと対局を楽しんでいます。最近は少し思考力が上がったような気がします。

60歳 男性
色々試したが、今一番、**身体に合っている**と思います。

54歳 男性
ヤバイかな、と思った時に、少し多めに摂取し、**大丈夫**になるケースもある。

76歳 男性
プロリコ成分は老いゆく身の**力を高め、健康寿命**を叶えて、自然のままに美しく形よく老いる予感があり、毎日、楽しく摂取、**安心**して暮らしています。

76歳 男性
若いものと違って、76才にもなれば、いくら運動や身体に良いことを重ねても、年と共に、衰弱して行くのがわかります。しかし、プロリコ成分を摂取してからは、**色々なところが少しづつ良くなって行く**のが自分では良くわかります。

※個人の感想であり体感には個人差があります。年齢は取材当時のものです。コメントは内容により一部省略・変更しております。

次は、「あなた」の、お役に立ちたい。

知識豊富なスタッフが、お悩み・疑問をおうかがいします。ご相談は、お気軽に。

今すぐ、通話料無料ダイヤルへお電話ください。

フリーダイヤル

リサーチ プロリコ

0120-632-265

【受付時間】 7:00 ~ 22:00 (年中無休) ※IP・携帯電話からもご利用いただけます。

イマジン・グローバル・ケア株式会社プロリコ研究所 東京都港区六本木3-16-12 六本木KSビル8階

別紙 3

糖尿病は、「し・め・じ」が、怖い?!

糖尿病は、いまや国民病。しかし、なぜこれほど怖がられるのか、ご存知ですか？

食事からとり入れた糖は、脳をはじめとするさまざまな臓器にとって欠かせないエネルギー源。普段はすい臓からインスリンというホルモンが分泌され、血液中の糖の量が増えすぎないように調整しています。このインスリンの働きが低下し、常に血糖値が高い状態となるのが糖尿病です。

では、**血糖値**が高いと、なぜ悪いのでしょうか？

実は、**糖尿病で怖いのは、高血糖それ自体ではなく、それにより血管の細胞が傷つき、様々な合併症が起こること**です。

糖尿病と免疫力との関係とは？

糖尿病の人にとって**免疫力**は、**糖尿病のコントロールと合併症の予防に大きく関わってきます**。

高血糖が続くことで、免疫力の要となる白血球に悪影響が及び、免疫力が低下し、その結果、**かぜ、インフルエンザ、肺炎、結核、膀胱炎、腎盂炎、口内炎、歯肉炎、皮膚炎、胆嚢炎など、ありとあらゆる感染症にかかりやすく、治りにくくなります**。

そして、感染症にかかることにより、**糖尿病そのもののコントロールがうまくいかなくなってしまう**こともあるのです。

また、**免疫力が低下している**と、**ばい菌に打ち勝つことが難しくなるので、傷が重症になり**

プロリコ研究所にも、糖尿病をお持ちの方から毎日お電話をいただきますが、皆さん、合併症を怖がっていらつしやいます。

糖尿病の**三大合併症**とは、神経障害、網膜症、腎症のことです。

糖尿病にかかってから、神経障害(し)を発症するまでに約10年、網膜症(め)が10〜15年、腎症(じ)が15年以上かかると言われています。

神経障害

糖尿病による**神経障害**は、かなり進行するまで自覚症状がないので、脚のしびれで病院に行き、そこで初めてと診断されることもあります。神経障害がひどくなると、ほとんど痛みを感じなくなります。

神経障害が進行すると、**運動神経や自律神経にも問題が起きます(運動機能の低下、こむら返り、起立性低血圧、下痢、便秘、EDなど)**。

網膜症は、長期間、高血糖が続くことで、目のなかでフィブリンの役割を担う網膜が傷害を受け、最悪の場合、失明に至ります。**大人になってから失明する原因の1位が糖尿病**です。

腎症は、高血糖により、腎臓内で中心的な役割を果たす糸球体というところに問題が起きます。腎臓の機能が低下し、体内の老廃物などを尿として体外に出せなくなってしまうので、進行すると人工透析治療が必要となります。こちらにも、**透析開始原因の1位が糖尿病**です。

糖尿病の合併症は、三大合併症だけではありません。

国内では、年間約3千人が糖尿病性壊疽により、脚を切断しています。

さらに、**脚を切断すると、その後の生命予後も悪くなり、切断後の5年生存率は約40〜60%といわれます**。

「ちょっとしたかぜや傷なら放っておけば大丈夫」は、糖尿病には通用しません。

腎症や網膜症は、細い血管が障害されて起こる合併症ですが、当然、太い血管も徐々に傷つけていきます。**(糖尿病大血管症)**。

心臓に血液を送る血管が傷つくと**狭心症や心筋梗塞**、脳の血管が障害を受けると**脳梗塞**のリスクが高まります。

糖尿病は血管病ともいわれるように、**糖尿病患者さんの方が心筋梗塞や脳梗塞の危険性が高い**ことがわかっています。

さらに最近では、**認知症**も合併症の一つと考えられるようになりました。

糖尿病治療の目的は、これらの合併症の予防にあるのです。

合併症を起こす前から、**免疫力を高めておくことがなにより大切な**のです。

糖尿病で、プロリコ成分を摂取いただいた方から、多くの体感のお声が届いています。

次は、ぜひ、あなたのお役に立たせて下さい。

